

No.378 に続き、「いじめについて考える集会」について。3年生では話し合いの最後に、**ハートコンタクト長**が以下のような話をしました。



「ハートコンタクト長のことば」の概略

これからの未来をどのように生きていこうと考えましたか。今日話し合った「新たな環境で自分らしく生きる」ということは、多くの人が考えていかなければならない課題です。

この集会はゴールではありません。

これから出会う人は多種多様です。十人十色の答えがあります。

想像すること。そして、ためらわず行動すること。自分を大切にすること。周りの人も大切にすること。そして、みんなが幸せであるために…。

東中での仲間がいます。**大きな力となります。**一人では小さくても、仲間が集まれば、大切な人を守るための大きな力となります。(以下略)

本来はもっと話は続きましたが、私がメモとして速記した部分のみ羅列しました。ハートコンタクト長は今回の話し合いを受けて、「想像すること」「行動すること」の大切さを取り上げました。それも話し合いの中ではすぐに行動に移すことを不安視する声もあったことから、「**相手の気持ちをよく考えて想像し、行動する**」ことにふれています。

これらはトラブル回避でとても大切になることだと私も思いました。そして、「自分らしく」を幸せと結び付けて話してくれました。「**みんなが自分らしく生きられる未来こそ、幸せな未来です**」。真剣に話し合ったからこそ、代表であるハートコンタクト長の言葉となって表れたと思いました。

今回の話し合いでは、SNSでの具体的ないじめ事案をもとに考え合いました。教師の予想もしないような具体的な意見がどんどん出ました。

SNSは教師の目にも触れることのほとんどない閉ざされた世界です。その中で、SNS上で悪口を書かれたり、個人情報や画像を流されたり、無視されたり、強制的に退会させられたり…といった形で、心が傷つけられる被害が全国的に発生しています。また、SNS上の文章は短文のために、真意とは違う捉え方をされてトラブルになる例も後を絶ちません。

学校でも情報モラル教育をはじめ、今回のような話し合いの場をもっていますが、ご家庭でもお子様の様子を見ていただき微妙な変化を見逃さないことや、SNS等を使用するときのルールづくり、条件づくりをお願いします。